

【教養趣味系講座情報】

① 講師名 **木野村 茂美**

(講座NO. 40106)

② 講座名 **「紫式部といふ人」—『紫式部日記』を通して—**

③ 内容

2024年度のNHK大河ドラマが紫式部の人生を描いた作品となることが発表されました。そこで、『源氏物語』という、日本を代表する古典文学として世界的にも著名な作品を残した紫式部の人となり『紫式部日記』を通して垣間見てみませんか。
『紫式部日記』には、紫式部が幼少期、弟が漢籍を学んでいるときに耳学問ながら、弟より早く漢籍を理解し、父からその才能を認められていた話も記されています。『源氏物語』の「桐壺巻」に、桐壺帝の桐壺更衣への寵愛ぶりを、唐の安史の乱(玄宗皇帝が楊貴妃を寵愛したことで国政が傾いたこと)を想像させる話題として描かれています。これは、紫式部に漢籍の素養があったことと関係が深いと考えられます。
『紫式部日記』を読んで、『源氏物語』の作者紫式部という人とその生きた時代を垣間見てみましょう。

④ 会場 **丸の内**

⑤ 回数 全 **10** 回

⑥ 曜日・時間 **土** 曜日 **10:00** ~ **11:30**

⑦ 受講料 **18,000** 円

⑧ 定員 **20** 名

⑨ 教材費等

無	プリント配布(都度 資料代を徴収 1枚あたり10円を予定)
その他(準備するものなど)	筆記用具

⑩ シラバス

回	日付	内容
1	10/7	『紫式部日記』とは？ 概要・解説
2	10/28	・四月十余日 ・宮との契り
3	11/11	・宮のためらい ・四月から五月へ
4	11/25	・むなしい訪れ ・五月雨のつれづれ
5	12/9	・五月五日のころ ・月夜の同車行
6	12/23	・宮の疑惑 ・宮の訪れ
7	1/6	・あきれた噂 ・七月
8	1/27	・八月石山詣 ・九月二十日余日
9	2/10	・手習の文 ・九月末、代詠
10	2/17	・十月、手枕の袖 ・宮廷入りのすすめ